

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2021年9月度 番組審議会概要

2021年9月9日（木）※書面開催

— 出席（レポート提出） —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子 木村 精治
上柳 正仁 飯野 勝己 松本 恵司 山本 正博

— 議 題 —

番組名 「くさデカ放送1000回記念！
千鳥が静岡グルメを食べ尽くすSP」

放送日時 2021年6月25日（金）19時00分～20時00分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

県内の様々な飲食店の「自慢のアレ」を紹介するグルメ情報番組「くさデカ」が6月26日に1000回目の放送を迎えることを記念した特別番組。スペシャルゲストに千鳥の2人を招き、レギュラーである土曜日18時30分からの30分枠を飛び出し、金曜日のゴールデン帯での60分番組にチャレンジした。

番組では「くさデカ」レギュラー陣が、過去999回の放送の中から「自慢のアレ」厳選。うなぎやミナミマグロといったおなじみの静岡グルメや、歴代最高視聴率を叩き出した“究極の逸品”が千鳥の目の前に現れる！

さらに、レギュラー陣とゲストとのトークや、ゲストゆかりの人物の登場やエピソードなど、通常の放送ではあまり見ることがない1000回記念ならではの演出・構成で普段とは一味違う「くさデカ」となった。

— 主なご意見 —

- ◎1000回・20年以上も続いているこの番組の良さは「シンプルである」ことだと思う。「自慢のアレ」という独自の言葉、鈴木アナのナレーションのテンションなど、ずっと変わらないが、不思議と飽きず、安心感がある。
- ◎長寿番組の誉め言葉で「偉大なるマンネリズム」と言われるが、くさデカにもそれがあてはまる。基本の番組スタイルを変えず、安定感・安心感がある。
- ◎通常回とは違う特別感があった。いつもの食の紹介の他に、料理をきっかけにした楽しいトーク、番組のアクセントにクイズなど、飽きさせない工夫がされていた。
- ◎大悟さんの故・志村けんさんとのエピソードは視聴者の興味を引き付けたと思う。大村さんの息子・晴空くんの歌も通常回ではできない演出だった。
- ◎コロナで店への訪問が大幅に制限されている状況で、1つの店を拠点に各店の料理を運び込み、そこでトークを展開する手法に工夫がみられた。店舗を訪問しなくてもくさデカの面影が良く残されていた。
- ◎色々な店を訪問しないことで、当然だが映像的な動きが少なくなり、番組の持ち味でもあるそれぞれの店の雰囲気描写や店主との会話がないうのは、わかってはいるが寂しい感じがした。
- ◎これもコロナ禍で仕方ないが、紹介された「静岡グルメ」は静岡市内のみで、東部・西部の店の味が登場しなかったのは残念。
- ◎放送1000回ということで、過去の懐かしい映像や、数ある料理の中からの1品、今も続いている店の再訪問などを期待したが、そうではなかった。
- ◎時間も長く内容も盛りだくさんで、「自慢のアレ」が記憶に残らなかった。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2021年10月14日（木）の予定です。